

食品ロスに関するアンケート調査結果（第三回）について

ハウス食品グループ本社では、「食品ロスの削減の推進に関する法律（以下、略称：食品ロス削減推進法）」が公布後・施行前だった 2019 年 7 月から、お客様（ハウス食品グループ本社の会員サイト登録者）に向けて「食品ロス」に関するアンケート調査を実施しています。

2021 年 1 月には、三回目となるアンケート調査を実施しました。

1. 目的

「食品ロス削減の認知率」「家庭における食品ロスの実態」を知り、食に携わる企業として、食品ロス削減の取り組みや発信に繋げる。

継続的に同様の調査を実施することで、認知率や実態の変化を把握していく。

2. 対象

ハウス食品グループ本社の会員サイトに登録いただいているお客様

有効回答数 8,979（全国 10～90 代男女、性別：男性 2,102、女性 6,674、不明 203）

3. アンケート実施期間

2021 年 1 月 22 日～1 月 29 日

（第一回：2019 年 7 月 2 日～7 月 8 日、第二回：2020 年 6 月 29 日～7 月 6 日）

4. 方法

インターネット調査

5. 調査項目

Q1.食品ロス（フードロス）をご存じですか？（単一選択*以下略称：SA）

Q2.食品ロス（フードロス）が「事業系」と「家庭系」に分けられることをご存じですか？（SA）

Q3.食品や食材を捨ててしまう頻度を教えてください（SA）

Q4.捨ててしまいがちな食品・食材を教えてください（複数選択*以下略称：MA）

Q5.最近捨ててしまった食品・食材を具体的に教えてください（自由回答*以下略称：FA）

Q6.消費・賞味期限が近づいて・切れて焦ったことがある食品・食材を具体的に教えてください（FA）

6. その他・補足

百分率（%）は小数点第二位で四捨五入し、小数点第一位までを算出しました。

*百分率の合計値が 100%とならない場合がございます。

*年代・性別が不明だった 219 名は、年代別のデータからは除外しました。

* Q4・Q5・Q6：食品・食材の回答で「無し」「特に無い」等は、順位から除外しました。

データの 無断利用 はご遠慮ください。

【データの転載・利用についての問い合わせ先】

ハウス食品お客様相談センター <https://housefoods.jp/inquiry/index.html>

TEL：0120-50-1231（土・日・祝日を除く *受付時間は上記 URL から確認願います）

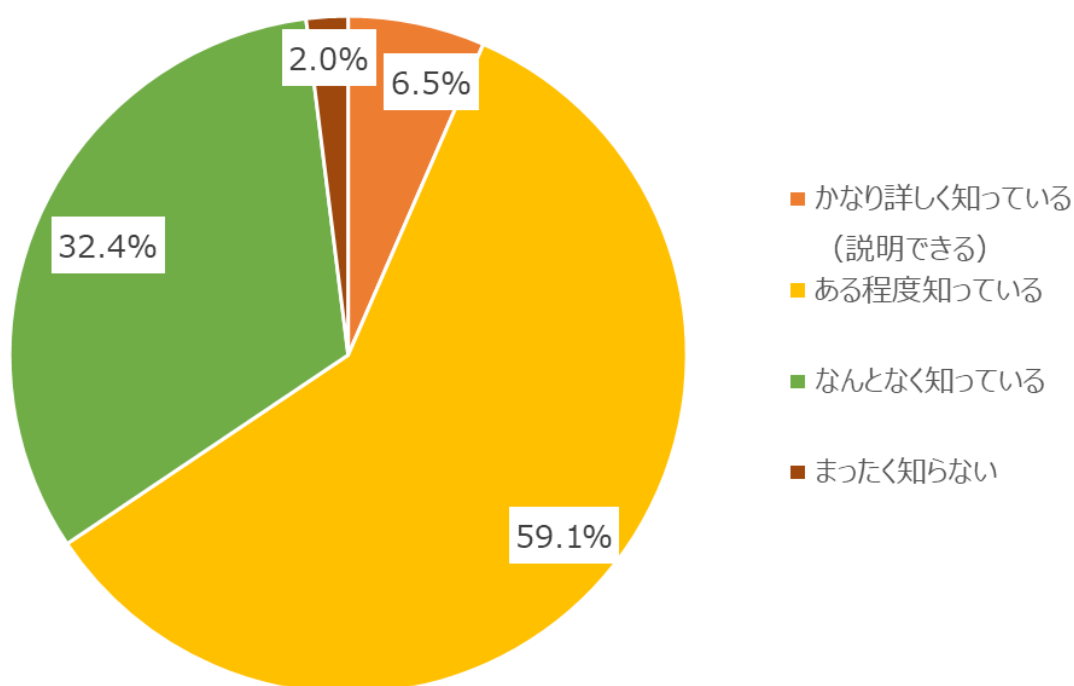
【調査結果】

1-1.食品ロス問題の認知率（知っている割合）

食品ロスについての認知率については、「ある程度知っている」以上の回答が 65.6%、「なんとなく知っている」を加えると 98.0%となり、前回・前々回と比べて上昇しています。食品ロス削減推進法の施行や食品ロスに関わるニュース等情報の増加に伴い、認知が上がっていると推測します。

グラフ 1-1.食品ロス問題の認知率

SA、n=8,979



【過去比較】1-1.食品ロス問題の認知率（知っている割合）の増減

第二回（前回・半年前）と同様に「まったく知らない」「何となく知っている」という方の割合が減少し、「知っている」「ある程度知っている」と回答された方の増加傾向が続いています。単なる「食品ロス」という言葉だけでなく、意味の理解や削減の対策についても、浸透が進んでいると思われます。

【過去比較】1-1.食品ロス問題の認知率の増減

SA、n 数は下表に記載

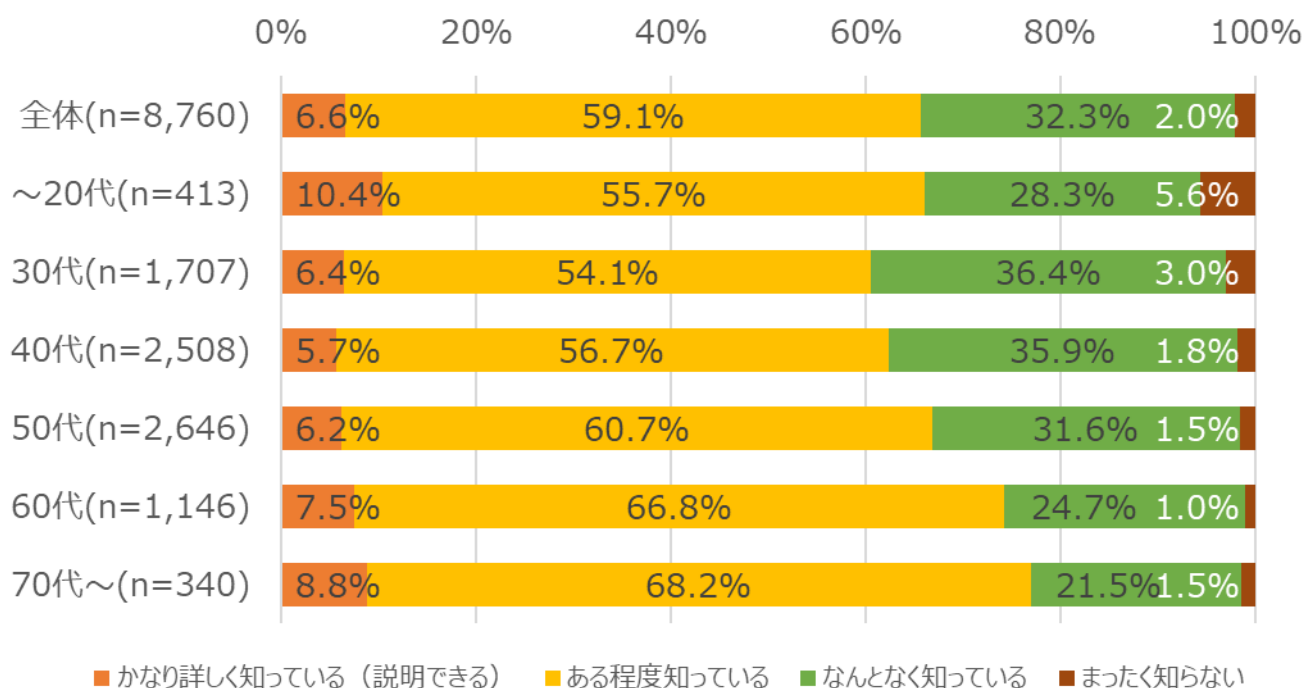
	2021年1月 n=	2020年7月	2019年7月	2021年1月－ 2019年7月増減
かなり詳しく知っている（説明できる）	8,979	6,990	6,357	
	6.5%	6.0%	4.9%	1.7%
ある程度知っている	59.1%	57.4%	45.7%	13.3%
なんとなく知っている	32.4%	34.0%	39.5%	-7.1%
まったく知らない	2.0%	2.7%	9.9%	-7.9%

1-2.食品ロス問題の認知率（年代別）

年代別で見ると「知っている」割合は、年代が高くなるほど増加し、「まったく知らない」割合は年代が高くなるほど減少するという傾向が出ています。

グラフ 1-2.食品ロス問題の年代別認知率

SA、n=8,760

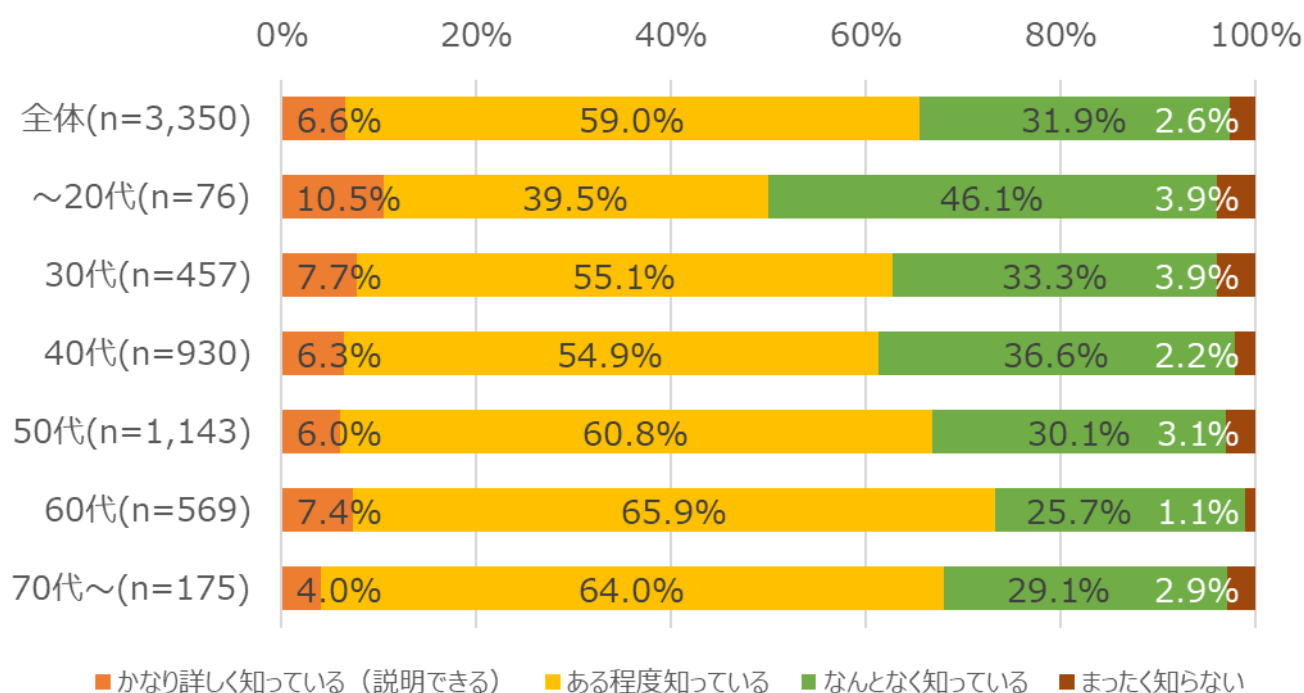


【前回】1-2.食品ロス問題の認知率（年代別）

年代別で見ると「知っている」割合は、年代が高くなるほど増加し、「まったく知らない」割合は年代が高くなるほど減少する傾向で、前々回（第一回）と同じ傾向が続いていました。

【前回】グラフ 1-2.食品ロス問題の年代別認知率

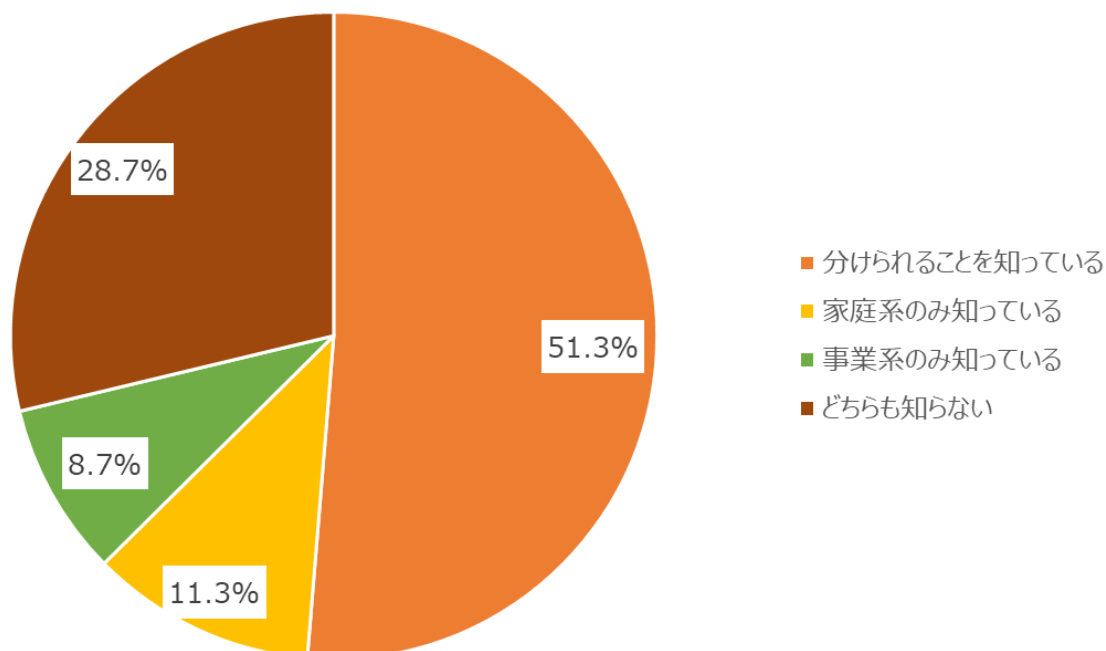
SA、n=3,350



2-1.食品ロス問題（内訳）の認知率

食品ロスが事業系と家庭系に分けられることを知っているかという問いに対し、「知っている」と回答した方は51.3%いらっしゃり、初めて過半数を超えました。「家庭系のみ知っている」が11.3%で、事業系のみ知っているが8.7%となっていました。また、「どちらも知らない」と回答された方が28.7%となりました。食品ロス問題の内訳についての認知・理解については、少しずつ広がっていると考えられます。

グラフ 2-1.食品ロス問題（内訳）認知率 SA、n=8,979



【過去比較】2-1.食品ロス問題（内訳）の認知率増減

前回（半年前）・前々回（1年半前）と比べ「知っている」と回答された方の割合が、増加している傾向にあります。「事業系のみ知っている」と回答された方の割合は調査を重ねるごとに減少しており、食品ロス問題は事業だけではなく、家庭でも発生しているということが知られつつあるようです。

【過去比較】2-1.食品ロス問題（内訳）認知率増減

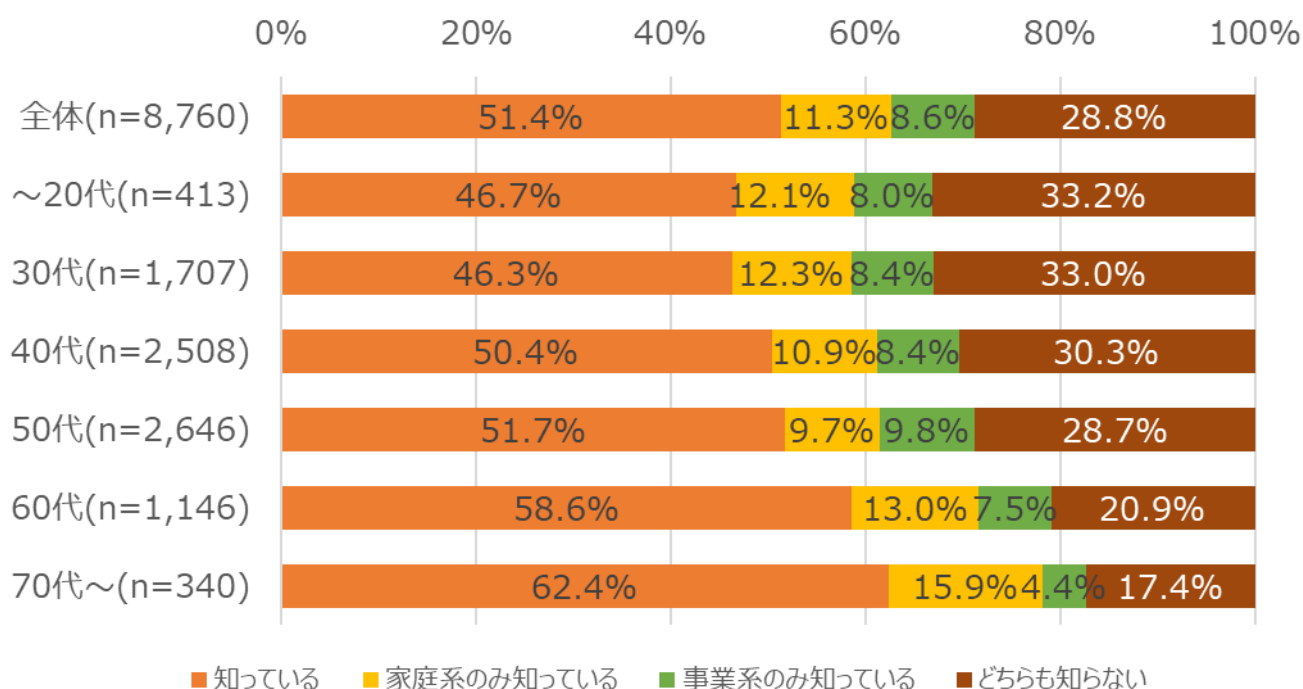
SA、n 数は下表に記載

	2021年1月 n=	2020年7月	2019年7月	2021年1月－ 2019年7月増減
知っている	8,979	6,990	6,357	
知っている	51.3%	46.5%	48.0%	3.3%
家庭系のみ知っている	11.3%	11.7%	8.3%	3.0%
事業系のみ知っている	8.7%	11.2%	14.8%	-6.1%
どちらも知らない	28.7%	30.7%	28.9%	-0.1%

2-2.食品ロス問題（内訳）の認知率（年代別）

全体の認知は上がり、年代が上がるほど食品ロスが「家庭系」と「事業系」とに大分されるということを「知っている」方の割合も増える、という傾向が顕著になりました。

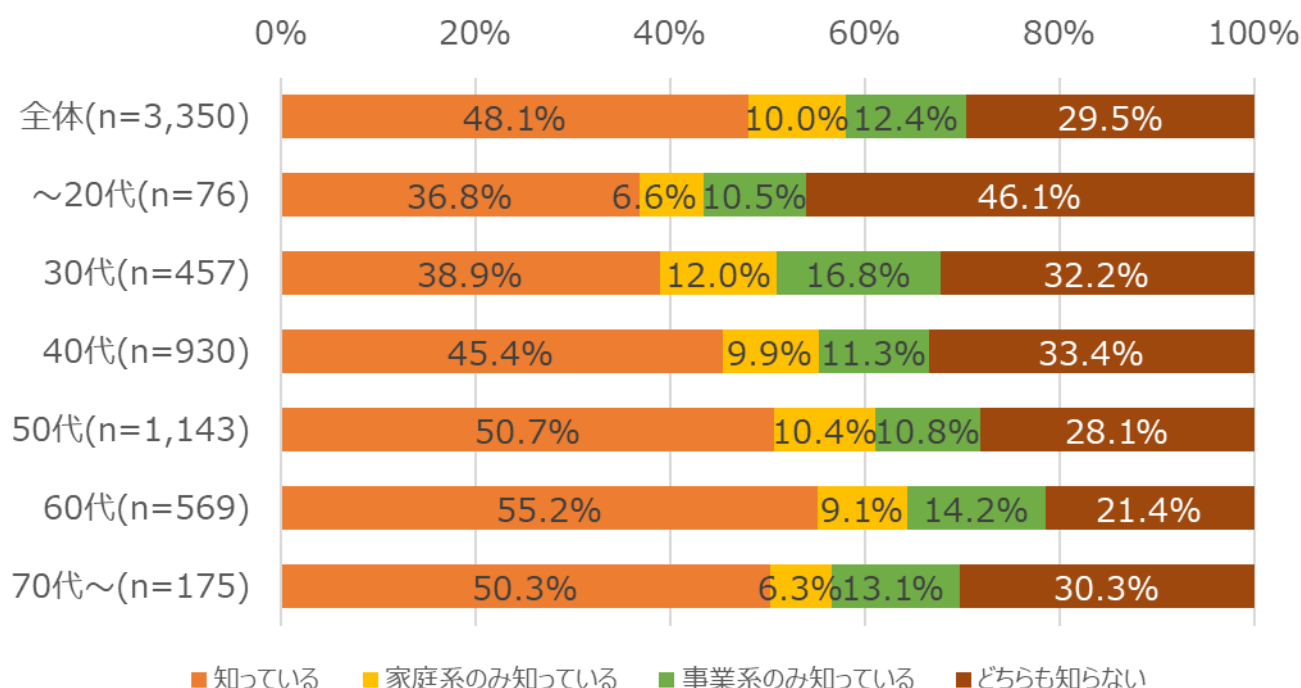
グラフ 2-2.食品ロス問題（内訳）年代別認知率 SA、n=8,760



【前回】2-2.食品ロス問題（内訳）の認知率（年代別）

家庭系・事業系と大分されることの認知率は、年代が上がるほど高くなり、第一回（前々回）と同様でした。70代以上の分けられることを「知っている」割合が、前回比▲19.0%と大きく減少しました。

【前回】グラフ 2-2.食品ロス問題（内訳）年代別認知率 SA、n=3,350

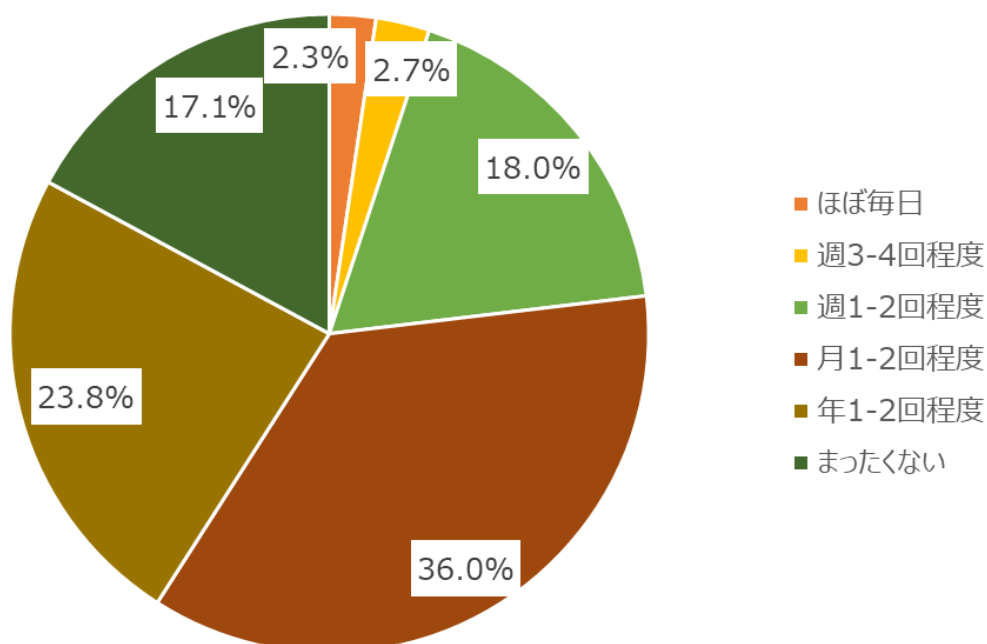


3-1.食品・食材を捨ててしまう（食品ロスにしてしまう）頻度

食品・食材を捨ててしまう頻度の問いに対し、「ほぼ毎日」から「月 1～2 回」と回答した方が 59.0%となり、食品ロスが月 1 回以上発生してしまっている家庭の割合は、前回より若干減少しました。

「まったくない」と回答された方は 17.1%で、前回調査時と変化がありませんでした。

グラフ 3-1.食品ロス発生頻度 SA、n=8,979



【過去比較】3-1. 食品・食材を捨ててしまう（食品ロスにしてしまう）頻度

前回（第二回）食品・食材を捨ててしまう頻度は、「ほぼ毎日」から「月 1～2 回」と回答した方が 61.9%で、食品ロスが月 1 回以上発生してしまっている家庭の割合は約 6 割という結果になりました。

「まったくない」と回答された方が 17.1%いっしょに、前々回（第一回）と比べ大幅に増加しました。

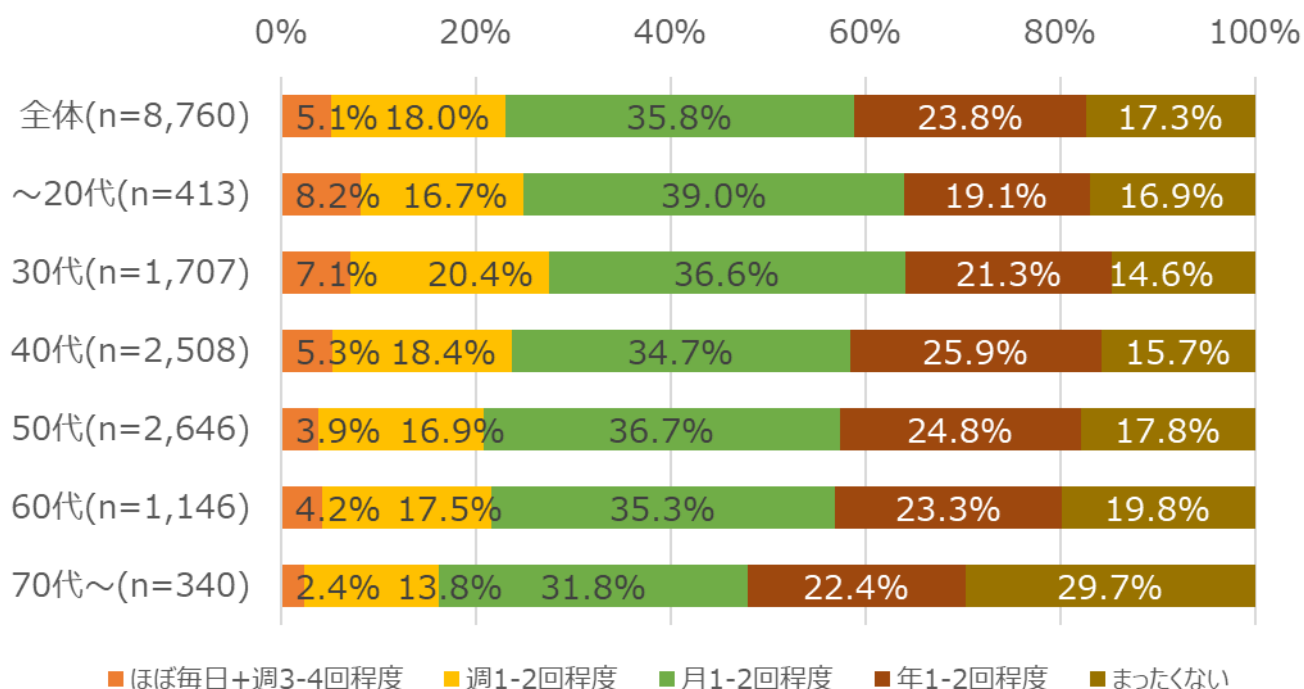
【過去比較】3-1.食品ロス発生頻度 SA、n 数は下表に記載

	2021年1月 n=	2020年7月	2019年7月	2021年1月－ 2019年7月増減
ほぼ毎日	8,979	6,990	6,357	0.1%
週3-4回程度	2.3%	2.1%	1.9%	-0.7%
週1-2回程度	2.7%	3.2%	3.8%	-3.5%
月1-2回程度	18.0%	20.1%	23.6%	-4.5%
年1-2回程度	36.0%	36.5%	41.0%	-1.9%
まったくない	23.8%	21.0%	22.9%	10.4%
	17.1%	17.1%	6.7%	

3-2. 食品・食材を捨ててしまう（食品ロスにしてしまう）頻度（年代別）

年代別の傾向については、夏場に調査した前回と同様の傾向・構成比となっており、調査する時期（季節）による違いは、あまり出ないことが分かりました。

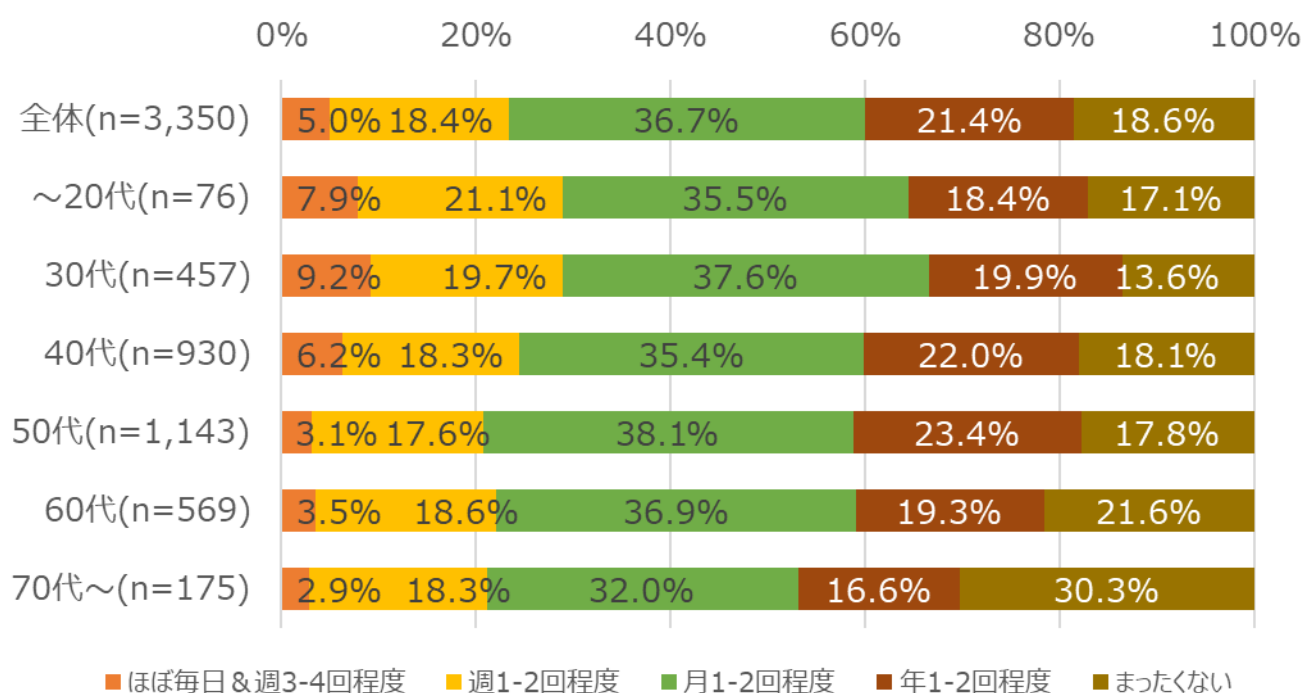
グラフ 3-2.食品ロス発生頻度（年代別） SA、n=8,760



【前回】3-2. 食品・食材を捨ててしまう（食品ロスにしてしまう）頻度（年代別）

年代別では傾向に大きな変化は見られませんでした。前々回（第一回）の調査結果と比較すると、食品ロスの発生頻度が減少しているという傾向が、各年代で顕著に見られました。

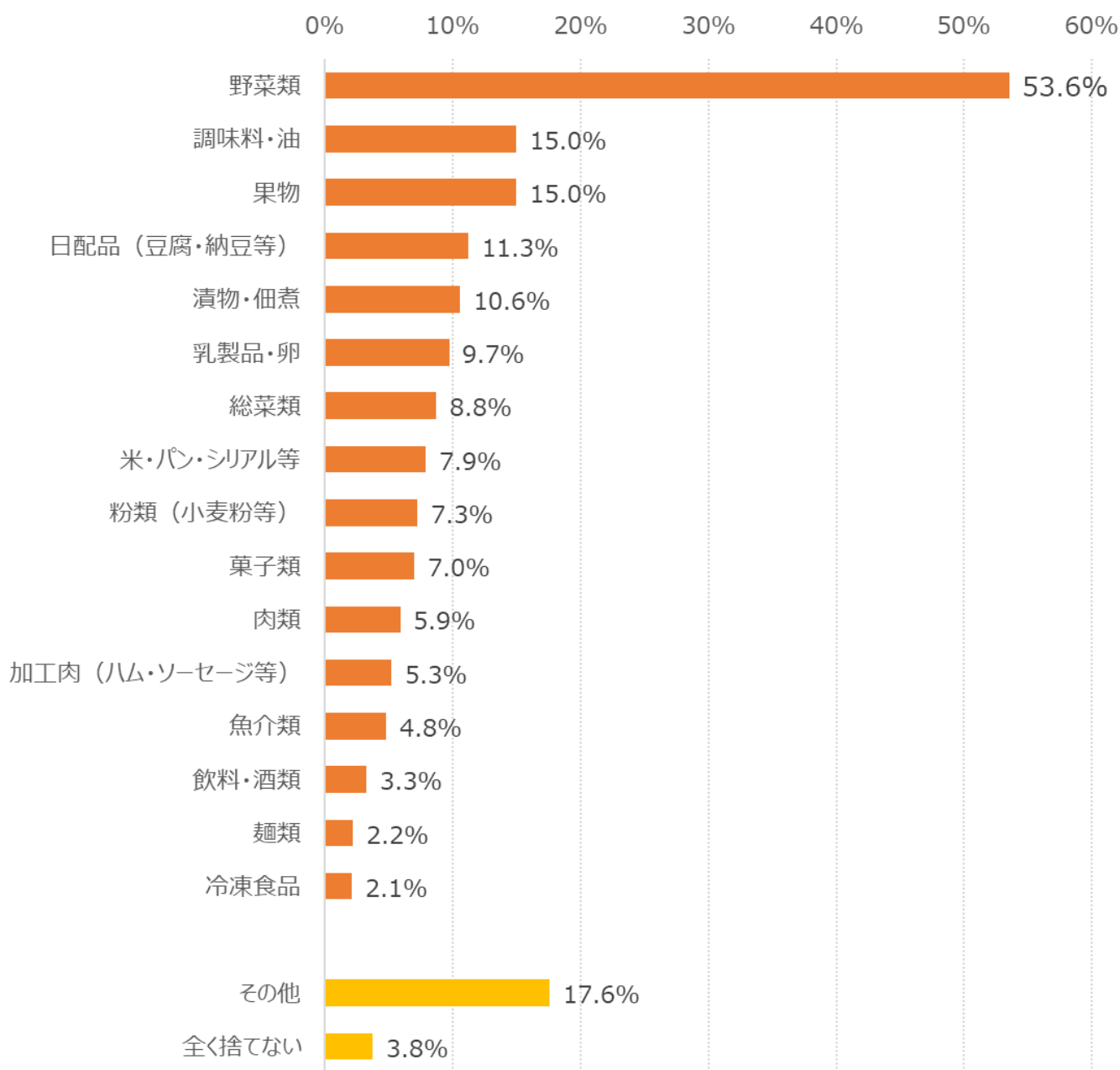
【前回】グラフ 3-2.食品ロス発生頻度（年代別） SA、n=3,350



4.捨ててしまいがちな食品・食材

捨ててしまいがちな食品・食材の種類については、最も多かったのは前回（第二回・半年前）・前々回（第一回・1年半前）と変わらず「野菜類」で、53.6%の回答割合でした。次いで「調味料・油」15.0%、「果物」15.0%、「日配品」11.3%という結果で、前回と比べ「果物」の割合が増え、日配品と順位が入れ替わりました。「全く捨てない」という方も前回 3.2%→今回 3.8%と微増している点も、食品ロス対策の観点ではポイントだと考えています。

グラフ 4.捨ててしまいがちな食品・食材の割合 MA、n=8,979



*第二回（2020年7月）アンケートから「その他（FA）」「全く捨てない」の項目を追加

【過去比較】4.捨ててしまいがちな食品・食材

捨ててしまいがちな食品・食材の種類については「野菜類」をはじめ全般的に下がっていますが、「調味料・油」「果物」「漬物・佃煮」などの食品・食材については、前回（第二回・半年前）調査時より割合が増加しています。「野菜類」「果物」については、季節によって捨ててしまいがちと回答される割合が、変動する可能性もあると推測しています。

【過去比較】4.捨ててしまいがちな食品・食材の割合

n 数は下表に記載

	2021年1月 n=	2020年7月	2019年7月	2021年1月－ 2019年7月増減
野菜類	8,760	3,350	5,721	-10.8%
調味料・油				-1.1%
果物				-6.6%
日配品（豆腐・納豆等）				-5.3%
漬物・佃煮				-4.7%
乳製品・卵				-5.6%
総菜・惣菜類				-3.7%
米・パン・シリアル等				-4.5%
粉類（小麦粉等）				-3.0%
菓子類				-3.9%
肉類				-7.4%
加工肉（ハム・ソーセージ等）				-3.3%
魚介類				-3.9%
飲料・酒類				-2.4%
麺類				-2.8%
冷凍食品				-2.7%
その他				-
全く捨てない				-

*第二回（2020年7月）アンケートから「その他（FA）」「全く捨てない」の項目を追加

5.最近捨ててしまった食品・食材

最近捨ててしまった具体的な食品・食材は「みかん」7.2%で最も多かったです。次いで「きゅうり」6.9%、「大根」5.2%、「豆腐」4.9%、「牛乳」4.9%、という結果でした。過去2回：ともに7月に実施したアンケートの結果と異なり、「みかん」が「きゅうり」を上回った点が最大のポイントだと考えます。季節によって食品ロスになってしまう食品・食材は変わるため、対策についても季節ごとの実態を把握した上で、打ち出す必要があると改めて気づききっかけになりました。

表 5.最近捨ててしまった食品・食材ランキング FA、n=8,979

順位	食品・食材	回答割合	順位	食品・食材	回答割合
1	みかん	7.2%	26	長ねぎ	1.8%
2	きゅうり	7.1%	27	じゃがいも	1.8%
3	大根	5.2%	28	惣菜類	1.7%
4	豆腐	4.9%	29	菓子・スナック菓子	1.7%
5	牛乳	4.9%	30	調味料	1.7%
6	納豆	4.7%	31	玉ねぎ	1.6%
7	パン	4.7%	32	佃煮	1.5%
8	白菜	4.6%	33	ほうれん草	1.4%
9	キャベツ	4.6%	34	豚肉	1.3%
10	レタス	3.8%	35	ジャム	1.2%
11	漬物	3.4%	36	煮物	1.2%
12	もやし	2.8%	37	ピーマン	1.1%
13	にんじん	2.7%	38	生姜	1.1%
14	魚介類	2.7%	39	ソース	1.1%
15	ヨーグルト	2.6%	40	さつまいも	1.0%
16	ドレッシング	2.4%	41	小松菜	1.0%
17	肉	2.3%	42	麺類	1.0%
18	りんご	2.2%	43	アボカド	0.9%
19	卵	2.1%	44	チーズ	0.9%
20	トマト	2.1%	45	カボチャ	0.9%
21	ハム・ソーセージ	2.1%	46	鶏肉	0.9%
22	小麦粉	2.0%	47	キムチ	0.8%
23	ご飯	2.0%	47	油	0.8%
23	バナナ	2.0%	49	冷凍食品	0.8%
25	きのこ	1.8%	50	ブロッコリー	0.7%

*回答数をもとに順位づけしているため、同じ回答割合でも順位が異なる場合があります。

【前回比較】5.最近捨ててしまった食品・食材

コロナ禍の影響により家庭内食機会が増加したという“暮らしの変化”が、捨ててしまったという回答割合全般の減少につながっているという状況は続いています。前回（第二回・半年前）の調査と比較すると上位を占めていた葉物野菜の順位が下がり、「みかん」「大根」「白菜」など冬に出回る食材が上昇した点が特徴的でした。

【前回比較】表 5.最近捨ててしまった食品・食材ランキング

FA、n=8,979

FA、n=6,990

第三回（2021年1月）			第二回（2020年7月）		
順位	食品・食材	回答割合	順位	食品・食材	回答割合
1	みかん	7.2%	1	きゅうり	8.0%
2	きゅうり	7.1%	2	レタス	6.9%
3	大根	5.2%	3	キャベツ	6.8%
4	豆腐	4.9%	4	パン	6.1%
5	牛乳	4.9%	5	もやし	5.8%
6	納豆	4.7%	6	豆腐	5.2%
7	パン	4.7%	7	納豆	4.8%
8	白菜	4.6%	8	玉ねぎ	4.6%
9	キャベツ	4.6%	9	牛乳	4.3%
10	レタス	3.8%	10	長ねぎ	3.4%
11	漬物	3.4%	11	魚介類	3.1%
12	もやし	2.8%	12	大根	3.0%
13	にんじん	2.7%	13	にんじん	2.9%
14	魚介類	2.7%	14	バナナ	2.8%
15	ヨーグルト	2.6%	15	じゃがいも	2.6%
16	ドレッシング	2.4%	16	漬物	2.5%
17	肉	2.3%	17	菓子・スナック菓子	2.4%
18	りんご	2.2%	18	トマト	2.4%
19	卵	2.1%	19	ご飯	2.2%
20	トマト	2.1%	20	きのこ	2.2%
21	ハム・ソーセージ	2.1%	21	卵	2.1%
22	小麦粉	2.0%	22	肉	2.0%
23	ご飯	2.0%	23	ドレッシング	2.0%
23	バナナ	2.0%	24	ハム・ソーセージ	2.0%
25	きのこ	1.8%	25	惣菜類	1.9%

*回答数をもとに順位づけしているため、同じ回答割合でも順位が異なる場合があります。

6. 期限が近づいて焦ったことのある食品・食材

賞味期限・消費期限が近づいて焦ったことのある食品・食材では、「牛乳」が17.9%と最も多い結果になりました。次いで「豆腐」15.2%、「納豆」13.2%、「卵」12.0%となっており、“捨ててしまった”という回答が多かった「野菜類」よりも、期限表示がある日配品のほうが、期限近くになり焦ったという方が多いという結果になりました。

表 6.期限が近づいて焦ったことがある食品・食材ランキング FA、n=8,979

順位	食品・食材	回答割合	順位	食品・食材	回答割合
1	牛乳	17.9%	26	ソース	0.9%
2	豆腐	15.2%	26	ベーコン	0.9%
3	納豆	13.2%	28	漬物	0.9%
4	卵	12.0%	29	鶏肉	0.9%
5	ヨーグルト	7.6%	30	乳製品	0.8%
6	肉・肉類	7.5%	31	佃煮	0.7%
7	ハム・ソーセージ	5.5%	32	きゅうり	0.7%
8	パン	5.5%	33	キムチ	0.7%
9	魚介類	3.1%	34	醤油	0.7%
10	ドレッシング	3.1%	35	飲料	0.6%
11	調味料	2.7%	36	うどん	0.6%
12	もやし	2.0%	36	かまぼこ	0.6%
13	チーズ	1.8%	38	惣菜類	0.5%
14	麺類	1.7%	39	わさび	0.5%
15	缶詰	1.6%	39	油揚げ	0.5%
16	野菜	1.5%	41	ラーメン	0.5%
17	ウインナー	1.5%	41	豆乳	0.5%
18	レトルト食品	1.4%	43	たれ	0.5%
19	豚肉	1.3%	44	ジュース	0.5%
20	菓子・スナック菓子	1.2%	44	マヨネーズ	0.5%
21	ちくわ	1.2%	46	生クリーム	0.5%
21	乾麺	1.2%	47	油	0.4%
23	小麦粉	1.2%	48	からし	0.4%
24	インスタント食品	1.0%	49	冷凍食品	0.4%
25	ジャム	1.0%			

*回答数をもとに順位づけしているため、同じ回答割合でも順位が異なる場合があります。

*第一回（2019年7月）の調査時と集計・集約方法を一部変更しております。

【前回比較】6. 期限が近づいて焦ったことのある食品・食材

前回（夏場）と今回（冬場）とも上位4つ「牛乳」「豆腐」「納豆」「卵」は、期限が近づいて焦った事があるという回答の割合順は変化がありませんでした。前回（第二回・半年前）と比べて、期限が近づいて焦ったという回答割合が増加の傾向にありました。前回調査時より外出自粛などの制約が、緩和された影響が出ているのではないかと推測します。

【前回比較】表 6.期限が近づいて焦ったことがある食品・食材ランキング

FA、n=8,979

FA、n=6,990

第三回（2021年1月）		
順位	食品・食材	回答割合
1	牛乳	17.9%
2	豆腐	15.2%
3	納豆	13.2%
4	卵	12.0%
5	ヨーグルト	7.6%
6	肉・肉類	7.5%
7	ハム・ソーセージ	5.5%
8	パン	5.5%
9	魚介類	3.1%
10	ドレッシング	3.1%
11	調味料	2.7%
12	もやし	2.0%
13	チーズ	1.8%
14	麺類	1.7%
15	缶詰	1.6%
16	野菜	1.5%
17	ウインナー	1.5%
18	レトルト食品	1.4%
19	豚肉	1.3%
20	菓子・スナック菓子	1.2%
21	ちくわ	1.2%
21	乾麺	1.2%
23	小麦粉	1.2%
24	インスタント食品	1.0%
25	ジャム	1.0%

第二回（2020年7月）		
順位	食品・食材	回答割合
1	牛乳	16.7%
2	豆腐	14.7%
3	納豆	11.7%
4	卵	11.4%
5	肉・肉類	7.0%
6	ハム・ソーセージ	6.4%
7	ヨーグルト	6.4%
8	パン・食パン	6.1%
9	魚介類	3.3%
10	ドレッシング	2.9%
11	もやし	2.4%
12	乾麺	2.3%
13	調味料	2.3%
14	野菜	2.1%
15	菓子・スナック菓子	1.7%
16	缶詰	1.6%
17	豚肉	1.4%
18	チーズ	1.3%
19	ちくわ	1.2%
20	小麦粉	1.2%
21	生麺	1.0%
22	インスタント食品	0.9%
22	醤油	0.9%
22	佃煮	0.9%
25	たれ	0.8%

*回答数をもとに順位づけしているため、同じ回答割合でも順位が異なる場合があります。

【補足 1：第三回（今回） 基礎情報】

- 性別 （n=8,979）
男性：23.4%／女性：74.3%／不明・未回答：2.3%
- 年代 （n=8,760）※性別・年齢「不明・未回答」の方を除く年代構成比
10～20代：4.7%／30代：19.5%／40代：28.6%
50代：30.2%／60代：13.1%／70代～：3.9%

【補足 2：第二回（前回） 基礎情報】

- 性別 （n=6,990）
男性：21.0%／女性：59.5%／不明・未回答：19.5%
- 年代 （n=3,350）※性別・年齢「不明・未回答」の方を除く年代構成比
10～20代：2.3%／30代：13.6%／40代：27.8%
50代：34.1%／60代：17.0%／70代～：5.2%

【補足 3：第一回（前々回） 基礎情報】

- 性別 （n=6,357）
男性：21.6%／女性：69.9%／不明：8.4%
- 年代 （n=5,721）※年齢「不明」の方を除く年代構成比
10～20代：2.5%／30代：13.5%／40代：30.9%
50代：30.2%／60代：11.0%／70代～：2.0%